【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年8月25日(2005.8.25)

【公開番号】特開2001-272413(P2001-272413A)
【公開日】平成13年10月5日(2001.10.5)
【出願番号】特願2000-128574(P2000-128574)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０１Ｐ　15/00
　Ｇ０１Ｃ　19/00
　Ｇ０８Ｃ　17/00
　Ｈ０４Ｂ　 7/26
　Ｈ０４Ｍ　 1/00
　Ｈ０４Ｍ　 1/02
　Ｈ０４Ｍ　 1/21
【ＦＩ】
　Ｇ０１Ｐ　15/00　　Ａ
　Ｇ０１Ｃ　19/00　　Ｚ
　Ｈ０４Ｍ　 1/00　　Ｕ
　Ｈ０４Ｍ　 1/02　　Ｃ
　Ｈ０４Ｍ　 1/21　　Ｚ
　Ｇ０１Ｐ　15/00　　Ｅ
　Ｇ０８Ｃ　17/00　　Ａ
　Ｈ０４Ｂ　 7/26　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成17年2月8日(2005.2.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　加速度センサおよび／または角速度センサと、それ（等）の動作を制御するスイッチ手段を搭載するとともに、前記加速度センサまたは角速度センサが検知した加速度または角速度に関する出力のデータを表示する表示機能を備えたことを特徴とする運動センサ付き携帯電話機。
【請求項２】
　前記加速度または角速度の出力が、携帯電話機の保有する機能を制御する制御入力の一部となることを特徴とする請求項１の運動センサ付き携帯電話機。
【請求項３】
　前記加速度または角速度の出力のデータを送信および受信し、かつ受信した出力のデータを表示する機能を有することを特徴とする請求項１ないし２のいずれかの運動センサ付き携帯電話機。
【請求項４】
　前記加速度または角速度の出力のデータは、携帯電話機の保有する機能を表示する表示装置に表示されることを特徴とする請求項１ないし３のいずれかの運動センサ付き携帯電話機。
【請求項５】

前記加速度または角速度の出力の少なくとも一つが、予め定めた値を越えたとき、所定の表示を行う表示機能を備えたことを特徴とする請求項１ないし４のいずれかの運動センサ付き携帯電話機。

【請求項６】

前記加速度または角速度の所定期間内における出力の少なくとも一つの最大値を記憶しかつ表示する機能を備えたことを特徴とする請求項１のないし５のいずれか運動センサ付き携帯電話機。

【請求項７】

前記加速度または角速度の出力の少なくとも一つに関する時間積分値を表示する表示機能を備えたことを特徴とする請求項１ないし６のいずれかの運動センサ付き携帯電話機。

【請求項８】

加速度センサおよび／または角速度センサと、それ（等）の動作を制御するスイッチ手段を搭載するとともに、前記加速度または角速度の出力が、携帯電話機の保有する機能を制御する制御入力の一部となることを特徴とする運動センサ付き携帯電話機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

（６）前記加速度または角速度の所定期間内における出力の少なくとも一つの最大値を記憶しかつ表示する機能を備えたこと。

（７）前記加速度または角速度の出力の少なくとも一つに関する時間積分値を表示する表示機能を備えたこと。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

また本発明の運動センサ付き携帯電話機は次の特徴を備える。

（８）加速度センサおよび／または角速度センサと、それ（等）の動作を制御するスイッチ手段を搭載するとともに、前記加速度または角速度の出力が、携帯電話機の保有する機能を制御する制御入力の一部となることを特徴とする運動センサ付き携帯電話機。